

1. 研究テーマ

GOSAT-GW 衛星による二酸化窒素観測を援用した排出源解析に関する研究及び関連する業務の推進

2. 所属

国立環境研究所 地球システム領域

研究・業務への適性に応じて、研究室または衛星観測センターに配属

3. 募集人数

テニュアトラック型任期付研究員 1名

(ただし、応募者の実績・経験によっては、テニュアトラック型任期付主任研究員としての採用もあり得る。)

4. 研究及び業務内容

国立環境研究所では環境省、宇宙航空研究開発機構とともに、二酸化炭素 (CO₂) やメタン (CH₄) 等の温室効果ガスを主な観測対象とする地球観測衛星 (GOSAT シリーズ) プロジェクトに取り組んでいる。GOSAT シリーズは、2008 年度の 1 号機、2018 年度の 2 号機に続き、こののち 3 号機となる GOSAT-GW (温室効果ガス・水循環観測技術衛星) が打ち上げられ、搭載される TANSO-3 センサにより CO₂ と CH₄ だけでなく二酸化窒素 (NO₂) の観測も行われる。

現在、TANSO-3 センサによる濃度導出手法、データの検証、NO₂ の観測を援用した人為起源排出量の推定手法の開発等を行っており、そのために必要なデータ処理及び配布を行う地上システムの開発も進めている。今後、濃度導出手法とデータ検証手法等の研究開発を統合的に推進し、プロダクトの質を高めるとともに、科学者に加え、行政における意思決定者やビジネスのユーザーからのニーズに対応したプロダクトを提供することにより、パリ協定のもとで進む世界の気候変動対策の進捗を確認する「グローバルストックテイク」に貢献する。

そこで本公募では、以下の業務①～③の複数もしくは全てを組み合わせる取り組み人材を募集する。

- ① GOSAT-GW の NO₂ 観測データを援用した排出源解析の高度化、及び複数の衛星観測プロダクトを現場観測やモデルと比較評価することによる解析の高度化に資する研究。
- ② ①の研究を統合的に推進するための技術調整業務、国内及び外国の機関との共同研究・連携に関する渉外。
- ③ GOSAT-GW プロジェクトにおいて、行政における意思決定者やビジネスのユーザーからのニーズを把握して CO₂、CH₄、NO₂ 等の観測プロダクトの利活用を拡大する業務。

(業務の内容 変更の範囲)

国立研究開発法人国立環境研究所が行う、研究及び研究に付随する事務業務全般

5. 応募資格

以下のすべての要件を満たすこと。

- (1) 採用時点で、博士の学位を有すること (採用時に学位取得見込を含む)、あるいは同等の能力を有することが認められること。

- (2) 専門分野として、大気化学、地球惑星物理学、環境科学等のいずれかの研究分野に関して研究実績を有すること。
- (3) 対流圏及び成層圏の反応性微量気体を対象とした観測データと大気化学輸送モデルデータを用いた解析研究の実績（特に、衛星、現場観測、モデルの3つを複合的に使った研究実績があることが望ましい。）、または衛星に関するプロジェクト従事経験の実績（特に、国際的な経験があることが望ましい。）を有すること。
- (4) 「4. 研究及び業務内容」に示す業務①～③の全てまたはいずれかについて関連する研究及び業務実績があること。①については独立して主体的に研究を推進する能力を有し、当該分野の国際誌に原著論文を公表していること、②と③については該当する業務について実務経験を有していること。
- (5) 研究及び外国の機関との共同研究・連携に関する渉外を含む業務を十分に遂行できる水準のコミュニケーションと成果の発信に関わる日本語能力及び英語能力を有すること。

6. 提出書類 ※ (1) 以外は様式自由

- (1) 履歴書（写真貼付、[所定の様式](#)を使用） 1部
- (2) 業績目録（研究業績については原著論文、著書、解説、口頭発表別、競争的研究資金、学会・社会活動。その他の業務の実績についてはその名称と担当部分の概要、従事年数。） 1部
- (3) 主要論文や業務説明資料の別刷り又はコピー（3編以内） 各1部
- (4) これまでの研究・業務実績概要（A4判1～2枚程度） 1部
（「4. 研究及び業務内容」末尾に挙げた業務①～③の実績がわかるように記述すること。）
- (5) 研究・業務に対する抱負（上記の「4. 研究及び業務内容」末尾に挙げた業務①～③に関して具体的に記載すること。A4判1～2枚程度） 1部
- (6) 所見を求めうる方の推薦状 2通
（2名の方から各1通とし、国立環境研究所職員以外からの推薦状を1通以上とする。なお、宛名は
15. (1)に記載された領域長とし、推薦者の氏名と連絡先を明記すること。）
※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

7. 応募締切

2025年1月14日（火）必着

※応募方法の問い合わせの締め切りに留意すること。

8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。

面接日は2025年1～2月を予定。

※面接審査においてはTeams等によるWEB面接とする場合がある。

9. 応募方法

電子送付による。

○「6. 提出書類（1）～（5）」について

電子送付の方法については、1月7日（火）までに必ず下記 15.(2)の担当者あてにメールでお問い合わせください。

その際、メールの件名を「R07-K-07 GOSAT-GW 任期付研究員応募」と記載ください。

メールをお送りいただいた方に電子送付の方法についてご案内します。

○「6. 提出書類（6）」について

推薦者から下記 15.(2)の担当者あてに直接メールで送付ください。

10. 雇用予定時期

2025年4月1日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

11. 雇用期間

2025年度内の着任の場合は、任期は最長で2030年3月末まで。

12. 勤務地

つくば本部（茨城県つくば市）

（受動喫煙対策）屋内禁煙、特定屋外喫煙場所あり

13. 処遇等

応募者の実績に応じ、テニュアトラック型任期付研究員またはテニュアトラック型任期付主任研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定。

（試用期間）6箇月（試用期間中の労働条件同一）

（勤務時間）裁量労働制

裁量労働制は勤務日に対象業務に従事した場合、1日について8時間15分勤務したものとみなす。

（社会保険）国家公務員共済組合法、雇用保険法及び介護保険法の定めるところによる。

（その他就業関係）「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規定によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に6か月以上1年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

14. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第15条の2の対象業務に該当しません。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第18条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

15. 問い合わせ先及び書類提出先

(1) 選考及び研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所

地球システム領域長 三枝 信子

Tel 029-850-2517

E-mail : n.saigusa (半角で@nies.go.jp をつけてください。)

(2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

総務部人事課 杉本 崇行

Tel : 029-850-2316

E-mail : saiyo (半角で@nies.go.jp をつけてください。)

16. 公募番号

R07-K-07